

2020年2月28日

(幼保連) 認定こども園さふらん



園だより

3月号

3月の聖句

光の子として歩みなさい。

エフェソの信徒への手紙5章8節

暖かな日が多かった2月、それでも池にツララが出来る寒い日もありました。これから三寒四温を繰り返しながら季節は春へと向かっていきます。

17日に年長さんは鶴川教会に行きました。今まで週に一度の礼拝を通して聖書の話聞き、瀬戸牧師には月1回園に来て頂き年中・長さんに聖句を分かり易く語って頂きました。教会に行っていない子ども達に、聖書の話聞き祈り賛美する教会を是非知ってもらいたいと願って2004年から訪れるようになりました。

松本頼仁創立者が今の会堂が建つ(1988年)前後8年間鶴川教会の牧師も兼ねていましたのでさふらん幼稚園にとっては、とても親しい教会です。

保護者の方も共に礼拝を守っています。瀬戸先生からお家の方へ「学校に行っからは礼拝の話は忘れていくでしょうが・・・幼児時代に蒔かれ種は心の奥深くにしっかり残っていると信じます。」のメッセージに私も深く頷きました。

飼育と放送の引継ぎ式が終わり、17日より年中さんは“みんなでやろう”との意気込み充分！年長さんから教えられた通り飼育や放送に取り組む姿は、本当に頼もしい限りです。

年少さんは“おひさまタイム”のクラス対抗のゲームで、負ける悔しさを経験しても次は勝つぞ！と切り替える子ども達のパワーに1年間培った仲間との繋がりが何より嬉しいです。新入園児にプレゼントのペンダントを作り、もうすぐ年中さんの思いも膨らんできました。

入園した時期はそれぞれ違いますが、さくらんぼさん14人はみんな仲良し！元気に園庭やお部屋で遊ぶ子ども達一人一人に大きな拍手です。

もうすぐ卒業する年長さんに年中少さんが、お別れパーティーを計画します。心のこもった素敵な会になることでしょう。

讚美歌「ひかりの子」の歌詞の中に♪喜ばれる人になろう・イエス様のようなひとに・愛を運ぶ人になろう・イエス様のようなひとに・光の子はいつも明るく・光の子はいつも素敵・光の子はいつも祈り・光の子はイエス様の子♪

今月の聖句は、この歌詞に込められていると思います。

朝、みんなが集まった頃「外に遊びに行ってもいいですよ！」のりんご組担任の言葉に、帽子をかぶり上履きを履いて、廊下からゆり組の前を通り階段を下りて園庭やさくらんぼ組のお部屋に行く長い道中をしっかりと歩く姿に、みんな逞しくなったなあ！ととても嬉しいです。

2月に入ってからは「ごちそうさま」をして、園庭で一遊び「もうお帰りのなので遊んでいるおもちゃを片付けましょう！・・・」の年長児の放送が始まると、立ち止まって聞きお部屋に入りお昼寝です。ナーサリーから幼稚園年少組へのソフトランディングのこの時期、いろんなことを吸収しようとする皆に大きな拍手！

うさぎさんはりんごさんと“わらべ歌”や遊具で共に遊び、食事と一緒に食べる交流をしています。何時もと違って緊張もしますがお互い良い刺激になり進級することをうさぎさんなりに少しずつ感じています。

昨年の4月を思い起こすと、泣いてお母さんから離れられなかった新入児・進級児も不安一杯でしたが、日々の生活や遊びを通して、また食事や排泄、着脱など自分で出来ることが増えました。

この1年の成長を思う時、「わたしは植え、アポロは水を注いだ。しかし成長させてくださったのは神です」（コリントの信徒への手紙1・3章8節）の言葉が浮かびます。わたし達は水を注ぐことしか出来ませんが、成長させて下さる神様に心から感謝します。

今月の聖句は「光の子として歩みなさい」です。光は神の力と恵みを表しています。明るく生き生きと愛の心を持って歩みたいと思います。